SocialWire

フーシャルワイヤー株式会社 2025年3月期 第2四半期(中間期)決算説明資料

2024年11月11日



連結業績

2 業績予想(修正)

直結財務諸表

1 主要サービス状況

05 会社概要

SocialWire

連結業績





- ▶ 株式会社ジーニー(6562)と資本提携実行により財務健全化
- ▶ マーケティング活動のドライブ開始
- ▶ 子会社譲渡により特別利益計上
- ▶ ジーニー提携加味、通期業績予想修正(譲渡子会社連結除外の影響あり)

自己資本比 **59.8%**YonY **168~214%**特別利益 **83百万円**提携効果 **增収増益貢献**

資金確保

財務状況の好転

増資&大幅利益増により財務状況の大幅改善

- 現預金:3.5億→13.0億(借入:3.7億→2.3億)
- 純資産: 0.8億→14億(自己資本比: 6%→60%)
- ⇒ 投資余力を満たし資金確保完了

デジタル事業に一本化

事業体制のスリム化

子会社譲渡により事業ポートフォリオのスリム化

- 旧シェアオフィスセグメントの子会社2社譲渡、シェアオフィスサービスから完全撤退
- 譲渡関連の特別利益を83百万円計上
- **⇒ デジタルサービスへ事業を一本化完了**

成長余力の確保

マーケティングの好転

積極的なマーケティング活動

- ジーニー提携でプロダクト開発増強、ストック力強化見通し
- 財政課題により抑制していたマーケティング活動を積極化
- 新規顧客獲得数の増加を急加速中
- ⇒ 成長伸びしろを大幅に確保開始

進捗は良好

業績予想の修正

特別利益、提携効果加味、譲渡子会社の影響加味

- 特別利益計上、および譲渡子会社2社の下期以降の寄与控除
- 事業進捗良好、提携PMIコスト含む一時経費も吸収
- ⇒ 最終利益は5年ぶりの水準

業績

収益回復 YoY大幅改善/年度末需要の振り戻しを吸収子会社売却益を計上 海外シェアオフィス子会社譲渡(特別利益83百万円計上)業績予想修正(後述) 進捗状況/子会社譲渡/ジーニー提携効果で業績予想修正

	2024/03期 2Q累計
売上高	2,160 百万円
営業利益	riangle $ hinspace 63$ 百万円
EBITDA ^{※1}	89 百万円
経常利益	△ 78 百万円
当期純利益 ^{※2}	△ 227 百万円

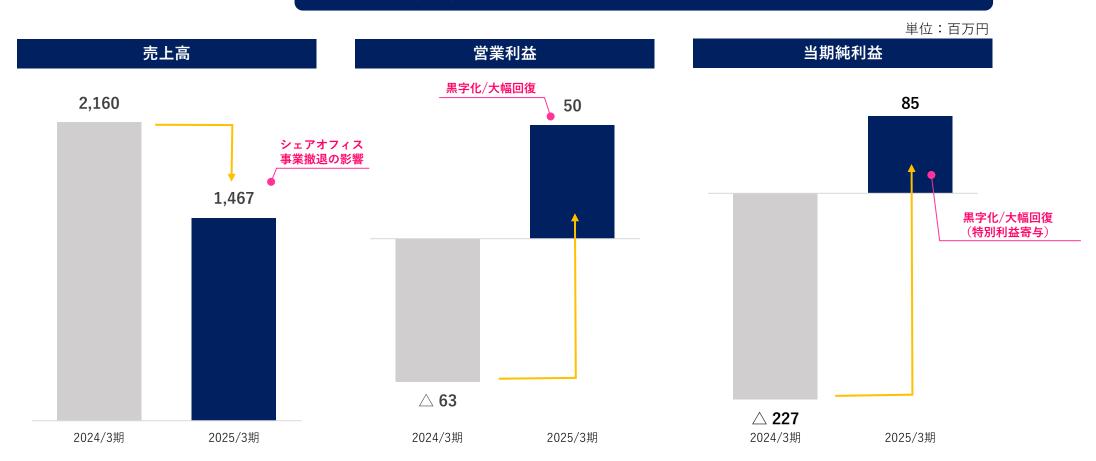
2025/03期			
2Q累計 	前年比	(修正前)通期予想	進捗率
1,467 百万円	67.9 % △ 693 百万円	2,890 百万円	50.8 %
50 百万円	黒字化 + 113 百万円	100 百万円	50.6 %
166 百万円	186.0 % + 77 百万円	-	-
1 百万円	黒字化 + 79 百万円	65 百万円	2.4 %
85 百万円	黒字化 + 312 百万円	45 百万円	190.3 %

※1 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

※2 親会社株主に帰属する当期純利益

業績

収益回復 YoY大幅改善/年度末需要の振り戻しを吸収 子会社売却益を計上 海外シェアオフィス子会社譲渡(特別利益83百万円計上) **業績予想修正(後述**) 進捗状況/子会社譲渡/ジーニー提携効果で業績予想修正

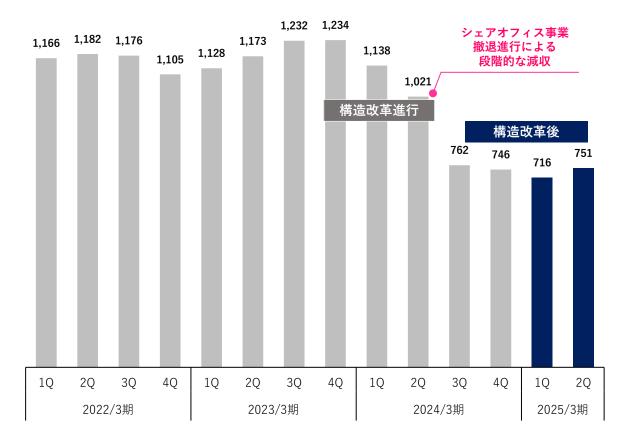




売上高

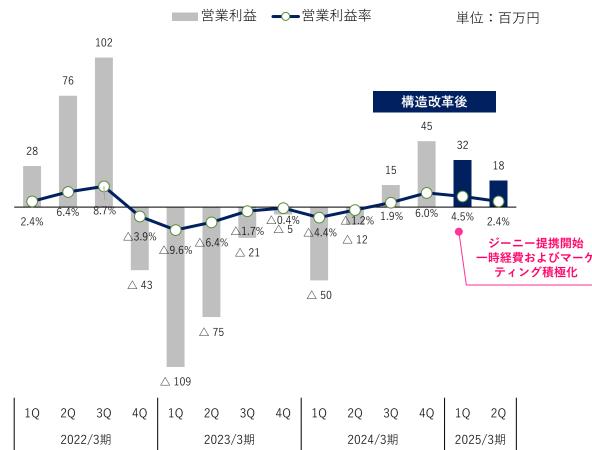
- 撤退事業の減少分を反映
- 2Qを以て海外シェアオフィスおよびクラウド翻訳も撤退完了

単位:百万円



営業利益

• 2Qよりジーニー提携開始。PMI経費や一時経費に加えマーケティング のドライブ開始により、やや微減ながらも営業黒字を堅調維持

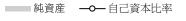




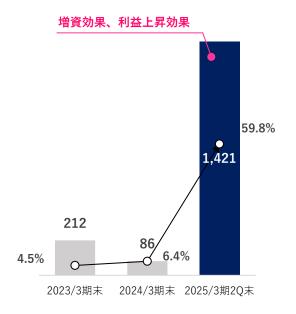
財務健全性

現預金 有利子負債 純資産 自己資本比率

2025/3期2Q末	2024/3期末	2023/3期末
1,307 百万円	354 百万円	1,015 百万円
230 百万円	373 百万円	2,256 百万円
1,421 百万円	86 百万円	212 百万円
59.8 %	6.4 %	4.5 %



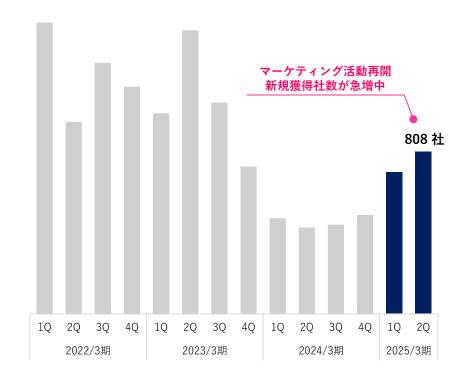




マーケティングのアクセル

リリース配信
インフルエンサーPR
クリッピング
反社チェック

KPI	YonY
獲得社数	202 %
新規受注額	168 %
獲得社数	214 %
獲得社数	186 %



SocialWire Property of the Social Wire

業績予想 (修正)

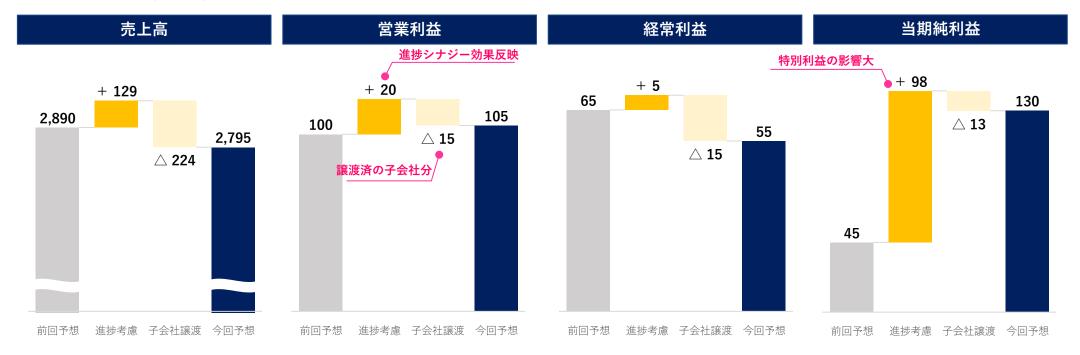




:	2025/3期			
	前回予想	進捗シナジー考慮※1	譲渡済子会社分※2	今回予想
売上高	2,890 百万円	+ 129 百万円	△ 224 百万円	2,795 百万円
営業利益	100 百万円	+ 20 百万円	△ 15 百万円	105 百万円
経常利益	65 百万円	+ 5 百万円	△ 15 百万円	55 百万円
当期純利益	45 百万円	+ 98 百万円	△ 13 百万円	130 百万円

※1 進捗およびジーニーとの提携効果を織り込み更新

※2 譲渡済の子会社(連結除外)の、下期寄与分の控除額



SocialWire |

連結財務諸表



貸借対照表

	2024/3	期末		2025/3期2Q末			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期末比 (%)	備忘	
流動資産	798	59.7	1,863	78.5	233.4		
固定資産	538	40.3	509	21.5	94.7		
資産合計	1,336	100	2,372	100.0	177.6	第三者割当増資による現預金増加	
流動負債	1,136	85	807	34.0	71.1		
固定負債	114	8.6	144	6.1	126.2		
負債合計	1,250	93.6	951	40.1	76.1	借入金返済による減少	
株主資本	16	1.3	1,427	60.2	8,548.2		
(自己株式) ^{※1}	(△83)	(△6.3)	(△83)	(△3.5)	100.0		
非支配株主持分	7	0.6	2	0.1	31.8		
その他	61	4.6	△8	△0.4	△14.2		
純資産合計	85	6.4	1,421	59.9	1,654.3	当期利益増加および第三者割当増資による増加	
負債・純資産合計	1,336	100	2,372	100	177.6		

^{※1} 自己株式金額は株主資本金額の内数

損益計算書

	2024/3	朝累計		2025/3期累計			
	2Q (百万円)	通期 (百万円)	2Q (百万円)	前年比 (%)	(<u>修正後</u>)通期予想 (百万円)	進捗度 (%)	進捗
売上高	2,160	3,669	1,467	67.9	2,795	52.5	堅調な進捗
売上総利益	945	1,899	925	97.9	_	_	
EBITDA	89	243	166	186.0	_	_	着実なCF確保
営業利益	△63	△2	50	黒字化	105	48.2	一時費用吸収し進捗堅調
経常利益	△78	△27	1	黒字化	55	2.8	增資関連経費計上(△35百万円)
当期純利益 ^{※1}	△227	△146	85	黒字化	130	65.9	子会社譲渡の特別利益計上(83百万円)

^{※1} 親会社株主に帰属する当期純利益

キャッシュ・フロー計算書

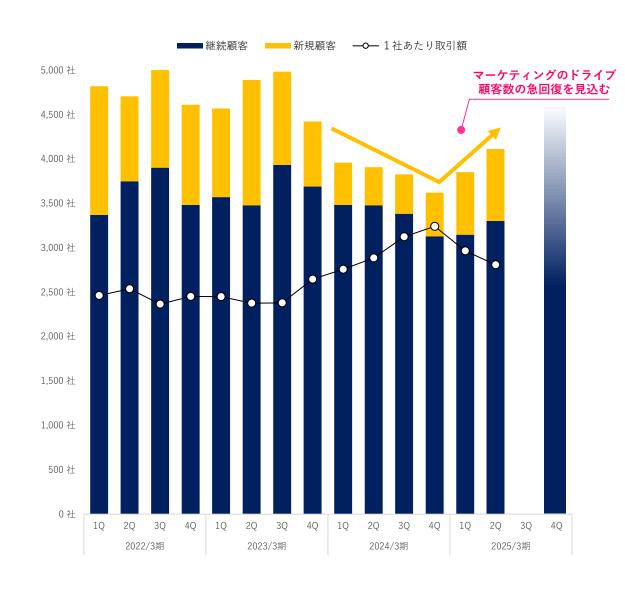
	2024/3期累計			2025/3期累計		
	2Q (百万円)	通期 (百万円)	2Q (百万円)	主な変動要因		
営業活動によるCF	71	126	△17	出向費前払拠出により微減		
投資活動によるCF	1,166	1,184	△94	無形固定資産の取得による支出(前年度は国内シェアオフィス事業による大幅にプラス)		
財務活動によるCF	△1,707	△1,977	1,076	増資による増加、借入金の早期返済(前年度は国内シェアオフィス事業により一括返済)		
現金及び現金同等物 期末残高	550	354	1,307			

SocialWire

主要サービス状況







主な活動方針と進捗 積極マーケティング&プロダクト増強

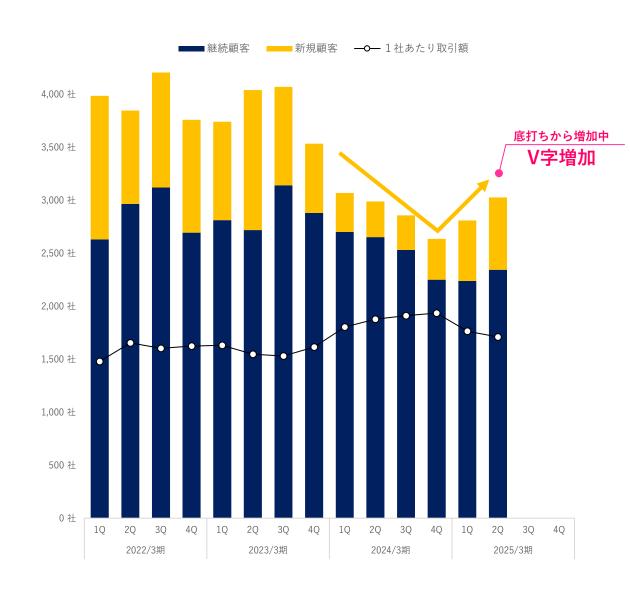
新規獲得活動の積極的な推進

- マーケティング活動をドライブ
- 販促経費を投下し取引社数増加へアクセル
- ジーニーGrの顧客基盤とクロスセル推進

プロダクト開発強化

- サイト挙動の高速化を伴うリニューアル(同業他社比で最速基準)
- エンジニアリング体制の大幅強化/開発加速







新規獲得の積極化

- 新規獲得活動の増強および取引社数の急増へ
- 動画プランの積極販促

AI活用による生産性向上

• 自社開発による運営固定費の大幅削減

案件数

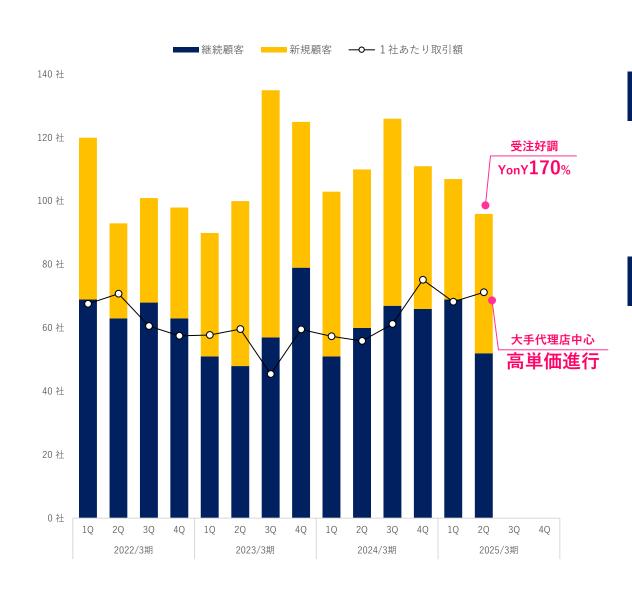
新規顧客獲得の増加傾向による底打ち

- 新規獲得の増加により段階的に増加基調へ
- 高単価プランの利用企業は継続

AIX実装フェイズ

• 配信オペレーションのAIX化を推進。品質精度ならびに 生産性を急激に増強中







大手代理店向けの高単価案件に注力

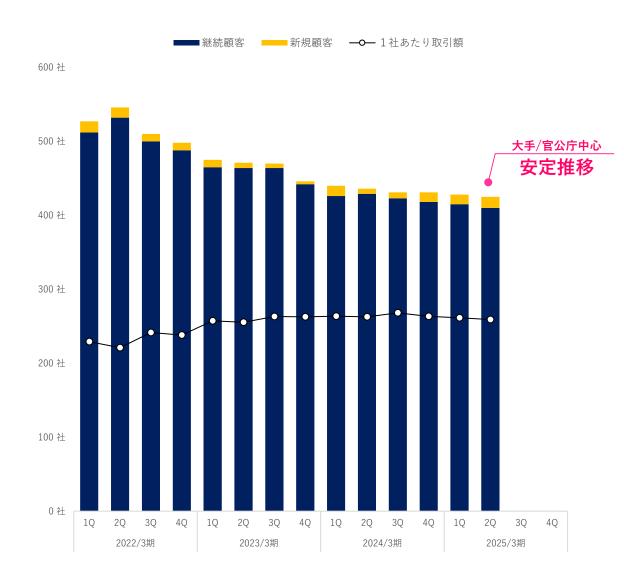
- リードの長い案件増、受注~売上が間延びする傾向
- 2Q先行指標(受注高)は順調に受注残を積み上ががり 進行中

案件数

高単価案件×案件増

- 着実に高単価の案件がつみあがり推移
- 美容/アパレル/ライフスタイル系が堅調、トラベル 増加中







顧客は官公庁/大企業が中心

- WEB顧客増加、紙クリッピングのみの顧客は微減傾向
- 早朝案件は堅調に進行中

新規顧客獲得

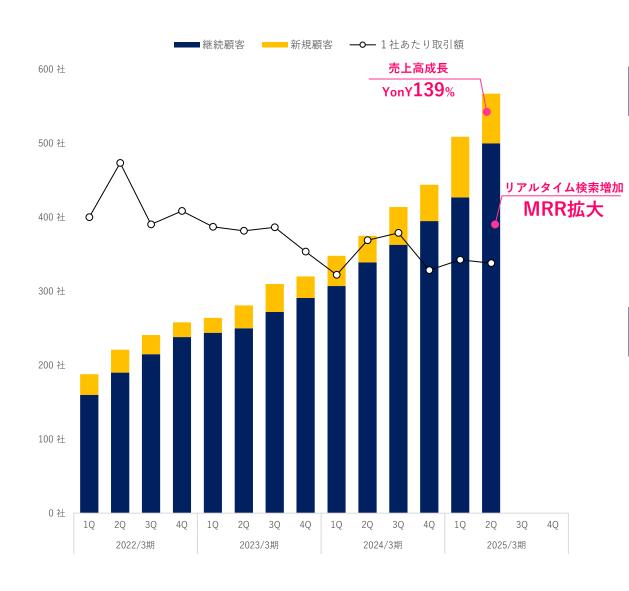
• <u>プラップジャパンと業務提携締結</u>。メタデータ活用の 新商材開発(反社チェックサービス創出実績あり)

案件数

●反社チェックやネガティブ案件が堅調

- 掲載調査対象がポジティブ広報調査に加え、ネガティブ広報調査への傾向が進行中
- ●開示許諾メディアのデジタル化を推進
- ・ 業界に先駆け、クリッピング結果情報のデジタル化 (メディア毎の著作権許可対応)を推進サービス開始







新規獲得活動を積極化

- 顧客数増加を更に加速進行中
- 展示会やセミナー等を積極化し、獲得数を倍増

成長率が加速

- 新規獲得活動が功を奏し高成長および成長が加速
- ストック力が高くMRRが順当に成長

案件数

利用検索数が加速的に増加中

- 1社あたり利用回数増加により案件数は急増中
- 業界初のスマホアプリ提供、利用者利便を推進

APIをSFAツールや労務ツールへ積極開放

• 反社チェック活用シーンを想定、SFAや人事労務ツールとの組み込み連携のAPIを積極開放

SocialWire

会社概要





会	社	名	ソーシャルワイヤー株式会社
設		立	2006年9月6日
本		社	東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル3階
資	本:	金	資本金 1,017百万円 (2024年9月末) 資本剰余金 957百万円 (2024年9月末)
経	営	陣	代表取締役社長 矢田峰之 取締役COO 藤原直美 取締役 水野 敦紹 取締役 中村利之 取締役 原 愛永 取締役(非) 工藤智昭 取締役(非) 菊川 淳 取締役(社外) 大野 誠一 取締役(社外) 白川 久美
従	業	員	単体268名、連結283名(2024年9月末)
事	業内	容	デジタルPR事業 ● リリース配信
主	要株	主	株式会社ジーニー 49% 矢田 峰之 10%
主	な事業	所	□ 本社 東京都港区新橋1-1-13 3階 □ 新宿御苑営業所 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル 5階 □ 仙台営業所 宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1 10階 □ 大阪営業所 大阪府大阪市中央区南久宝寺町2-6-7 2階 □ 福岡営業所 福岡県福岡市中央区天神五丁目7-3 5階

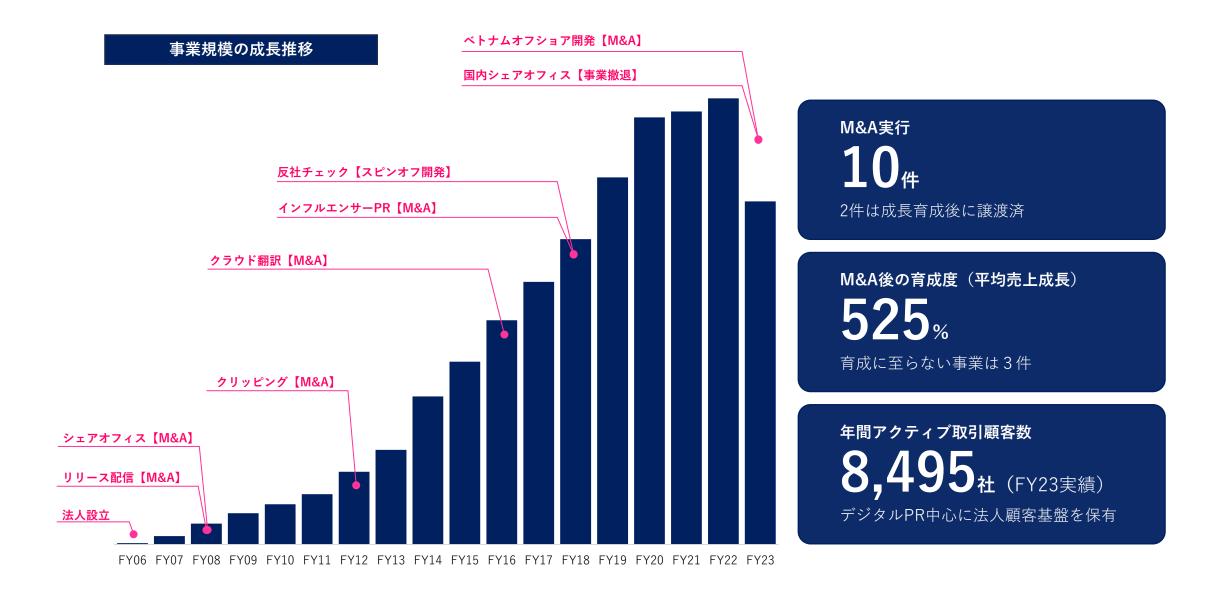
2006年	東京都中央区日本橋に未来予想株式会社として設立
2008年	リリース配信「アットプレス」をM&Aにより開始 シェアオフィス「クロスコープ」をM&Aにより開始
2009年	クロスコープを青山に開設
2010年	クロスコープを新宿南口に開設
2011年	クロスコープをシンガポールとジャカルタに開設
2012年	クロスコープをデリーに開設 掲載調査「アットクリッピング」を開始 ソーシャルワイヤー株式会社に社名変更
2013年	クロスコープをホーチミンとマニラに開設
2014年	アットクリッピング強化のためメディア・アイズ(株)をM&A クロスコープを新宿御苑に開設
2015年	東京証券取引所マザーズに株式公開
2016年	クロスコープをM&Aによりタイに開設 クラウド翻訳「トランスマート」をM&Aにより子会社化 クロスコープを仙台に開設
2017年	クロスコープを渋谷に開設
2018年	インフルエンサーPR「ファインドモデル」をM&Aにより開始 取引先チェック「リスクアイズ」を運営開始
2019年	SNSリリース配信「NEWSCAST」を開始 クロスコープを新橋に開設
2020年	クロスコープを横浜に開設
2022年	クロスコープを日本橋に開設 クロスコープを福岡に開設
2023年	国内シェアオフィス事業を事業譲渡 オフショアシステム開発の <u>MK1 Technology Vietnam</u> 子会社化
2024年	第三者割当増資および株式会社ジーニーの子会社 海外シェアオフィス株式譲渡(シンガポール子会社) クラウド翻訳事業を株式譲渡(トランスマート株式会社)

全ての魅力にスポットライトがあたる社会へ

経営方針

付加価値の追求による企業価値の向上

我々は、プロダクト価値を磨きをかけることに注力してまいります。 各々の事業者のもつ本来の魅力にスポットライトがあたることで、顧客のマーケティング活動を より実効性あるものにしていくことを追求してまいります。

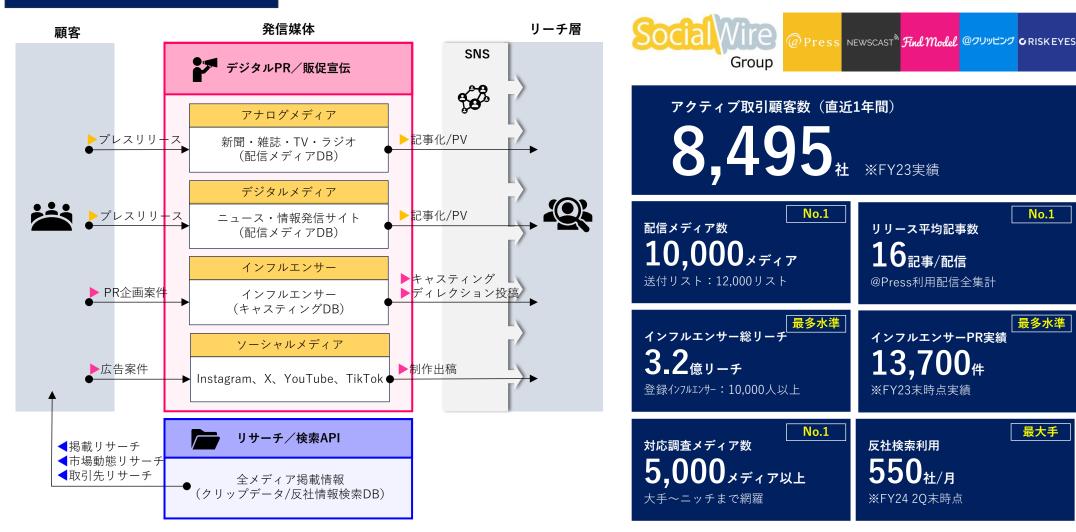


No.1

最多水準

最大手

事業系統図





顧客基盤増強

競争力



競争力を左右する **AIXテクノロジー**

● 持続的な最先端エンジニアリング(ジーニーグループ)

主戦場



PR/コマースの主戦場 SNSフィールド

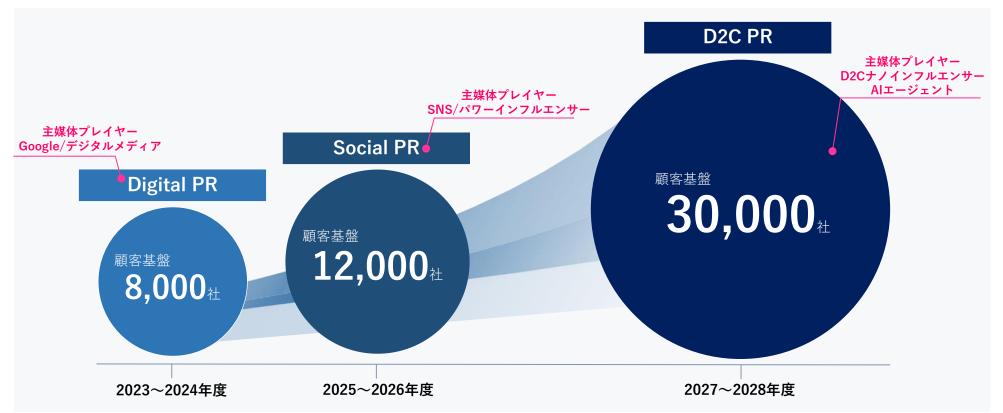
● M&Aの積極活用による機会創出、時間短縮

有効資産



行動様式の変様 **データドブリン**

● 非パブリックデータ活用(顧客基盤情報)のAIエージェントPR



本資料の取扱いについて

本資料に記載されている契約や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情 報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しておりま す。かかるリスク及び不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果 となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となると考える情報を掲載しております。掲載デー タについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情 報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するもので はありません。本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

IRに関するお問い合わせ

https://www.socialwire.net/contact 株主・投資家の皆様へのメッセージ https://www.socialwire.net/ir/messagelist